

2020年9月26日

2020年度東野高等学校同村会総会

議 案 書 (案)

於：東野高等学校内

基 調 報 告

会 長 遠 山 尚

同村会会員の皆さま、ご苦労さまです。同村会は、本年3月に卒業した33期生を新会員に迎え、会員数10,000名を超える会となりました。その会員を基とした当会は、「卒業生・在校生・東野高等学校のために」という目的に沿うべく活動をして参りましたが、残念ながら、2019年度は、我慢の年…となってしまい、そのご報告も含め2020年度は、大きく飛躍できるよう、一歩ずつ進んでいきたいと存じます。

会員の皆様には、同村会の活動へのご理解・応援をしていただけるよう、同村会のさらなる発展につながる実り多き総会にしたいと存じますので、本議案書を基に、闊達な意見交換をして戴きたくお願いする次第です。

2019年度は、年末・年始からの新型コロナウイルスの流行により、活動の抑止を余儀なくされた年となってしまいました。年度当初は、例年通り、盈華祭への参加もできましたが、活動予定であった、3年生との懇親会や、教職員の方々との懇親会も開催できなかったばかりか、会報の発行、そして本年(2020)秋に予定をしていた大同総会の開催を断念することとなる、活動予定の半分近くの項目が達成できない非常に残念な年となりました。

まず、活動の根幹である役員会の開催は計8回に止まり、活動予定(目標)としていた10回以上の役員会開催とは距離をおく結果となってしまいました。会議に集まること事態、密を避けるための自粛ムードもあり、役員招集に二の足を踏んでしまうこともあり、オンラインの活用の遅れも含め、会長として決断力不足等を、深く反省しております。

会議の招集が少なくなり、細部に至る課題検討を行うことを目標としながら、コロナ下の現状から、今後の活動自粛という議題によって、継続的な課題検討ができず、収入源の検討・支出規定の検討がほぼ未了となったことは、3年にわたる反省点となってしまいました。

また、同村会としては、学校に対する、現金での寄付が可能となるよう、寄付用の基金を開設し、会報で各卒業生に呼びかけておりました。しかし、基金の集まりも未だ少数に止まっておりますところ、寄付者の気持ちも鑑み、寄付金についての出納を明確にし、継続的な寄付をお願いしていきたいと考えております。なお、同村会基金への寄付者一覧を議案書末尾に記載致しました。心より御礼申し上げます。

このような活動の根幹である役員会の開催は、2020年度においてこそ、年に10回以上の役員会開催を目指し、活動内容に沿ったより細やかな課題検討をしていきたいと考えております。しかし、それらはボランティアである役員の負担に直結しており、次世代への役員の引継ぎが大きな課題で、役員の負担軽減、それに替わる策の検討等、世代交代が容易になる形態を検討していくべきであると考えております。

さて、本来であれば本総会の案内と共に会報をお手元にお届けすべきところ、本年度は会報の発行ができずに終わってしまいました。

会員の皆さんに、少しでも多く同村会からの情報をお伝えしたいと、年2回の会報発行を目標とし、本年度も発行をすることを活動予定としておりましたが、寄稿依頼が速やかに行えない等から、発行を断念せざるを得ない状況でした。

次に、ここ数年の反省点として、新会員となる3年生との懇親会の開催ができなかったこと、先生方との親睦会等についても、コロナ下においては検討をすることもできない状況で終わってしまいました。

私たちは、先生方の思いや活動をあまり知る機会がありません。また、先生方にとっても、同村会がいったいどのような考えのもと、どのような卒業生が活動を担っているのか等を知っていただく機会もあまりありません。現役の先生方とのコミュニケーションを密にすることで、同村会を周知していただき、その活動に理解を深めてもらう必要を感じていることは言うまでもなく、役員が教職員の方々と定期的に交流を深めることは、結果として同村会が、東野高等学校を中心としたコミュニティーを支え・活性化していく一端を担えると確信しております。

次に、不明会員を減少させる活動として、毎年、同期会の開催等を各期に広く呼びか

けておりますところ、やはり新型コロナ下において、今年度は、同期会の開催計画さえありませんでした。同村会は、同期会のお手伝いとして、案内状の作成や会場手配のお手伝いもしております。密にならない衛生的な会場で、同期会を希望される方は、是非、同村会に御相談下さい。

また、中長期計画として、本年秋に300名超の大同窓会を計画し、それに向けた検討を役員会で継続的に討議しておりましたが、新型コロナの影響により、本年の開催を断念いたしました。楽しみにしていた会員からも残念であることをご連絡いただいておりますので、引き続き、翌年開催も視野に入れ、大同総会の開催を検討していきたいと思っております。

残念ながら、すでにお亡くなりになった卒業生や、ご事情で、郵送物の発送停止を希望される方も含めると、約3,000名超の住所不明者等がいるのが現状です。

メールやFAXにて住所変更のご連絡を下さる方もあり、宛先不明で戻る送付物が少しずつ減少はしているものの、不明会員自体を減少させるまでには至っておらず、引き続き皆さまのご協力が必要です。大同総会に向けて、同窓生に対し、同村会へFAXやメールで新住所を連絡するよう促して頂きたいと思っております。

最後に、活動予定になかったことではありますが、法人の理事の方々と、役員との懇談会が本年2月に開催されました。同村会存続のための役員継承問題等の意見交換ができたことは大きな意味があり、同村会の存続と運営について、学校からも、双方の要請についての文書化や、会計処理を含むしっかりとした組織作りを望む声を戴いておりますことから、一組織として同村会をどのように考え、役員が交代した場合でも事業が滞ることがないように、継承問題を常に意識し、世代交代が容易になるよう継続的に検討していきたいと考えております。

以上のように、本議案書において、2019年度の活動報告並びに2020年度の活動方針等をご提案し、会員の皆さまにおかれては、同村会の活動に対し、さらなるご理解・ご協力をいただけるようお願い申し上げます。

同村会は、引き続き、学校と連携・協力し、多方面において活動を支えてくれる方の人的充足を図りつつ、活動の場の拡充をまいります。

以上

第1号議案 2019年度活動報告

2019年度の同村会の活動は、採択された議案書の活動方針のもと、基調報告にありますように下記のような活動を行うことが精一杯でした。(順不同)

新型コロナウイルスによる多大な影響を受け、活動自体を自粛せざるを得ませんでした。昨年の盈華祭の参加も含め、同村会の存在をアピールする機会は少なからずありました。また、活動予定になかったものの、学校との連携を再確認するため、役員と法人理事との懇談会が行われたことはとても有意義であり、今後の同村会の活動にレールを敷くことができましたと思います。

その他の、活動ができなかったことは、今後の同村会にとって大きな反省となり、会報の作成等も、効率よく短期間で作成できる体制と準備をしていくこと…が、コロナ下のような事態であっても会報を作成し、会員の皆さんに、同村会からのお知らせが届くようにできるものと確信しております。

2019年の盈華祭では、風鈴アーケードや第一の門の装飾は、在校生自らが行うこととなり、大変喜ばしい一歩を踏み出されたと感じております。アイス販売と卒業アルバム展示、来校者への休憩所の提供等でも参加をいたしました。

その他、反省点として御報告しましたように、教職員有志との懇親会や、会報の発行ができなかっただけでなく、経費にかかる各種の検討ができず、今後も積極的に取り組むべき課題となりました。

記

- 1 役員会の定期開催
- 2 33期生卒業記念品作成及び配布
- 3 33期生への同村会アピール
- 4 法人理事との懇談会
- 5 2019年度総会案内発送
- 6 盈華祭参加(在校生や実行委員会との交流)
- 7 新たな協力委員の募集、同村会のバックアップメンバーの拡充
- 8 会員の経験・職業等の情報収集
- 9 役員継承問題の継続討議
- 10 大同窓会企画準備

以上

第2号議案 2019年度会計報告

別紙、東野高等学校同村会 2019年度決算書記載のとおり

第3号議案 2019年度会計監査報告

別紙、東野高等学校同村会 2019年度決算書下部記載のとおり

以下余白

第4号議案 2020年度新役員選任

2019年度役員

会長 遠山 尚 (1)

副会長 伊達亮介 (3)

経理 小池直美 (1)

経理 下津郁也 (23)

監査 根本 章 (3)

菱沼博之 (1)

北澤理恵 (3)

毒島 純 (3)

羽田寿孝 (3)

高橋古志夫 (4)

黒澤 豊 (9)

手嶋 毅 (9)

2020年度役員候補者 (役職は追って互選)

小池直美 (1)

遠山 尚 (1)

嶋田明美 (1)

菱沼博之 (1)

北澤理恵 (3)

伊達亮介 (3)

毒島 純 (3)

羽田寿孝 (3)

根本 章 (3)

高橋古志夫 (4)

堀内優子 (6)

手嶋 毅 (9)

佐藤正和 (14)

下津郁也 (23)

() 内は卒業期

第5号議案 2020年度活動予定

2020年度の同村会は、下記の活動を行う予定です。(順不同)

盈華祭が中止となった今年度において催事の活動が少なくなってしまう状況となります。そのため、以前、行っていた卒業生による、在校生への進路講演「卒業生に学ぶ」と同様の企画を、開催したいと考えており、現在の生徒のニーズに合わせた内容・時季を学校と一緒に検討していきます。

好評だった卒業記念品の配布、ここ数年行ってきた新会員へのアピールと会報の配布も、状況に応じた工夫をして引き続き行う予定としております。

第6号議案の予算案も併せて御確認をいただきますと、会報発行による通信費等は年々増額が予測されますが、2020年の夏号の会報が発行できなかったこと、学校との送付物の同梱による、発送コストの縮減等を視野に入れた計画としております。

その他、基調報告にも記載しましたように、教職員との懇親会の再開、新会員との親睦会、本会役員の継承問題についての継続的討議、そして時期も含め大同窓会に向けた具体的な準備をしていきます。

記

- 1 役員会の定期開催
- 2 34期生卒業記念品作成及び配布
- 3 2020年度総会案内発送
- 4 新たな協力委員の募集、同村会のバックアップメンバーの拡充
- 5 会員の経験・職業等の情報収集
- 6 役員継承問題の継続討議
- 7 会費以外の収入源の検討及び支出規定の検討
- 8 大同窓会企画準備
- 9 「(仮)卒業生に学ぶ」企画検討
- 10 会報の作成・発送
- 11 同村会のアピール方法の再検討

以上

第6号議案 2020年度予算案

①収入の部(単年度分)

	費目	予算額
1	会費 (34期:約322名×¥7,000)	¥2,254,000
2	受取利息	¥400
3	催事収入	¥0
4	寄付金	¥200,000
5	雑収入	¥5,000
	計	¥2,459,400

②支出の部

	費目	予算額
1	事務費 (事務用品、消耗品、封筒等)	¥110,000
2	通信費 (電話・プロバイダ・ドメイン・会報送料等)	¥2,000,000
3	催事費 (学園祭《含既済》・卒業記念品購入費)	¥200,000
4	印刷費 (会報・総会案内等)	¥500,000
5	会議費 (交通費・会場使用料)	¥90,000
6	備品購入費	¥50,000
7	作業外注費	¥100,000
8	寄贈品・販売品等購入費	¥300,000
9	修繕費(口座内積立)	¥50,000
10	雑費	¥10,000
11	大同窓会準備(口座内積立)	¥600,000
	計	¥4,010,000

東野高等学校同村会
2019年度決算書

2019/08/1~2020/07/31


収入	金額	予算額
会費	4,928,000	2,450,000
受取利息	540	400
催事収入 (盈奉祭売上)	66,660	50,000
その他収入	0	5,000
寄付金	78,000	
収入合計	5,073,200	2,505,400
前年度繰越金	8,893,041	
総収入合計	13,966,241	

支出 (内は、主な内容)	金額	予算額
事務用品費 (宛名ラベルなど、消耗品)	7,258	110,000
通信費 (電話・プロバイダ・ドメイン・会報等送料)	461,213	2,100,000
催事費 (学園祭・卒業記念品購入費・周年記念費)	263,273	250,000
印刷費 (会報・学祭案内)	0	500,000
会議費 役員交通費	65,400	90,000
備品購入費	0	50,000
外注費	14,731	100,000
寄贈品等購入費	0	50,000
修繕費+雑費	0	60,000
2020大同窓会準備(口座内積立)	0	600,000
支出合計	811,875	3,910,000


翌年度への繰越額	収入合計	支出合計	繰越額
	13,966,241	811,875	13,154,366

繰越金内訳	
埼玉りそな銀行 普通	98,000
埼玉りそな銀行 定期	6,211,975
ゆうちょ銀行 普通	6,800,414
ゆうちょ銀行 定期	0
現金繰越高	43,977
合計	13,154,366

上記の通り、会計報告いたします。

会計 小池直美 

監査の結果、相違ありません。

監査 根本章 

同村会基金宛寄付者一覧

2019年度（本年7月31日）までに同村会宛に寄付金を戴いた方々です。心より感謝申し上げます。

2019/3/6	オガワカズヒロ 様
2019/3/6	ニッタユウキ 様
2019/7/19	クズウミドリ 様
2019/9/25	イチジョウレミ 様
2020/3/18	トオヤマヒサシ 様
2020/3/31	サトウマサカズ 様
2020/6/25	ダテリョウスケ 様
2020/6/25	キタザワリエ 様
2020/7/14	ハダトシタカ 様

以上